

算数科における
発達段階に合わせた
ノート指導の充実

第3学年
11月教材

1けたをかける
かけ算の筆算

第4時ノート例

11 / 6 No, 102

24 × 3

ひっ算のかき方

24 くらいをそろえて
× 3 たてにかくこと。

きのうとちがうところ
くり上がりがある。

くりあがりのあるひっ算のし方
やかき方について、考えよう。

72になるらしい。本当？

① ~~24~~
~~× 3~~
~~612~~

~~24~~
~~× 3~~
~~162~~

日付, ナンバー

本時の問題, 文章題であれば書かせる。

既習事項と未習事項の明確化。
これが本時の学習のめあてを立てる
布石になる。

本時の学習のめあて
長い文章にはならないようにする。

結果の見通し

方法の見通し

算数科における
発達段階に合わせた
ノート指導の充実

**第3学年
11月教材**

1けたをかける かけ算の筆算

第4時ノ一ト例

森さん

谷さん

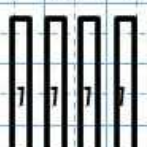
$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 72 \end{array}$$


→


$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 12 \cdots 4 \times 3 = 12 \\ 60 \cdots 20 \times 3 = 60 \\ \hline 72 \end{array}$$


北さん

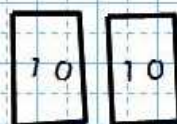
絵にかくと

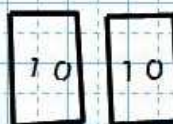












72

一の位

十の位

$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 12 \\ 72 \end{array}$$

→

$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 72 \end{array}$$

くり上がりのメモは、書いても書かなくてもよい。

最初に指名した児童の考えをもとに、学び合い、集団で考えを深め、広げていくことが大切である。

集団解決の際には、絵（図）、式、言葉（文章）の三つを往還させることにより、イメージ化を図り、実感をともなう理解ができるようにする。

算数科における
発達段階に合わせた
ノート指導の充実

第3学年
11月教材

1けたをかける
かけ算の筆算

第4時ノート例

れ

①
$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 3 \\ \hline 42 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 19 \\ \times 5 \\ \hline 95 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 16 \\ \times 5 \\ \hline 80 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 15 \\ \times 6 \\ \hline 90 \end{array}$$

ふ

くりあがりのあるひっ算のし
方やかき方について、たとえば
24×3の計算であれば、谷さ
んが言っていたように、4×3
と20×3で考えることが大じ
です。なので、ひっ算はとくに
位に気をつけて書くことが大じ
だということが分かりました。

児童の言葉にさせたい言葉「例えば…」, 「もし～だったら」などを, 積極的に使用している態度が見える場合などは, おおいに称賛する。

毎日, 集めて丸を付けてやるとよい。

第3学年 11月教材

1けたをかけるかけ算の筆算

第4時ノート例

11 / 6 No, 102

24×3

ひっ算のかき方

$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$ くらいをそろえて
たてにかくこと。

きのうとちがうところ
くり上がりがある。

くりあがりのあるひっ算のし方
やかき方について、考えよう。

72になるらしい。本当？

① ~~$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 612 \end{array}$~~ ~~$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 162 \end{array}$~~

森さん 谷さん

② $\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 72 \end{array}$ \rightarrow $\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 12 \dots 4 \times 3 = 12 \\ 60 \dots 20 \times 3 = 60 \\ \hline 72 \end{array}$

北さん

絵にかくと

$\begin{array}{c} \text{10} \text{ 10} \text{ 10} \text{ 10} \\ \text{1} \text{ 1} \text{ 1} \text{ 1} \end{array}$ 72

一の位 十の位

$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 12 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 72 \end{array}$

くり上がりのメモは、書いても書かなくてもよい。

① $\begin{array}{r} 14 \\ \times 3 \\ \hline 42 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 19 \\ \times 5 \\ \hline 95 \end{array}$

③ $\begin{array}{r} 16 \\ \times 5 \\ \hline 53 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 15 \\ \times 6 \\ \hline 63 \end{array}$

⑤ くりあがりのあるひっ算のし方やかき方について、たとえば 24×3 の計算であれば、谷さんが言っていたように、 4×3 と 20×3 で考えることが大切です。なので、ひっ算はとくに位に気をつけて書くことが大切です。ということが分かりました。

算数科におけるノートづくりの基礎指導

低学年の児童やノートを書くことがまだ十分でない児童への指導

- 書く位置の習慣化
- 授業中での書く時間の保障
- 「何を」「どのように」書くかの手引き（振り返りなど）

自分の考えをノートに書けるようにする指導

板書の充実

考え方のモデルを数多く見せることが大事です。

算数科における
発達段階に合わせた
ノート指導の充実

自分の考えをノートに書けるようにする指導

①日付, ページ, 単元名 (最初に書くか, 後に書くかは展開次第)
②問題文を板書する

③学習のめあて
④結果の見通しと方法の見通し

⑥練り上げで見いだしたこと (本時の目標)
⑦評価 (適用) 問題

11/22 ひきざん
P.102

かきが 13こ なくなつて
います。9こ とると、
なんこ のこりますか。

さんすうのことばでかくと
13 - 9

13 - 9のけいさんのしかたを
かんがえよう。

13 - 9 = 4

10 3

10の まとまりを
みつけて そこからひく。

れ 15 - 7

はやし

かぞえてひく

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

4こ

こたえ 4こ

もり

わけてひく

13を10と3にわけ
9を6と3にわけ

3 - 3 = 0

10 - 6 = 4 こたえ 4こ

きやま

13を10と3にわけ
10から9をひいて1
1と3で4

こたえ 4こ

⑤児童の考え方を板書する (させる)
黒板の下段にスペースをつくっておく。

※ 黒板を分割し, 内容によって書く
場所を決めておくとよい。